

平成28年度ラバーダム起立に伴う救出活動及び産卵調査の状況報告について

■ラバーダム起立と救出・調査活動の状況報告

農業用水を確保するための灌漑施設であるラバーダムが起立することで、産卵に適した上流に遡上できなくなるアユモドキを救出、調査した。環境省による生息域外保全事業のためのファウンダー採取も行われた。

【ラバーダム起立】6月5日（日）；曇り時々雨

- ◇ラバーダム操作は、午前4時16分から注水を開始し、午前8時52分に注水を停止した。
- ◇水位の変動は、注水開始前の25cmから、水位が安定した9時45分には187cmにまで上昇した。
- ◇亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会を中心に約60人が参加し、当日は合計39匹（雌12匹、雄20匹、未成魚7匹）のアユモドキを保護した後、29匹はラバーダム上流に放流した。
（※H27に保護した個体数は33匹。（雌2匹、雄8匹、未成魚23匹））
- ◇救出活動はラバーダム下流部が一時的に渇水した午前8時20分から9時10分までの間に実施した。
- ◇生息域外保全事業調査は午前4時30分から午前8時まで行われ、雌2匹+雄3匹を1セットとし、姫路市水族館及び志摩マリンランドにそれぞれ1セットずつ移送された。

【ラバーダム起立日後のダム下流調査】

- 6月 8日：巡視活動中に雌1匹（目測13cm）を保護。
 - 6月10日：ダム下流調査時に雌1匹（目測11cm）、未成魚1匹（目測5cm）を保護。
- ※いずれもダム上流に放流した。

【大雨時の土地改良区によるダム操作】

6月12日（日）の16:00から13日（月）9:00までに39mmの降雨があったが、土地改良区の配慮により、161cm以上の水位が保たれた。

■繁殖実験地の産卵調査の状況報告

6月6日昼から7日夜にかけて、繁殖実験地の産卵調査を実施した。

- ※＜調査＞：調査期間は6日昼から7日夜にかけて、巡回により実施した。（株式会社ラーゴ）
- <観察＞：調査期間外での阿部氏による観察。

【繁殖実験地産卵調査及び観察速報】

<6月6日 朝；観察>

A10-1で3回、アユモドキの産卵に関係した行動が観察された（産卵の可能性あり）。

<6月6日 夜；観察>

A10-2でアユモドキと思われる魚影が1度確認された。

《6月7日 7:15；調査》

A10-1で、体長9cm程度の雄と思われる1個体が、単独で行動するのを確認。

A10、A2、A3（流入部の網内部）、A6でナマズが確認されたが、いずれも頻度は低く、産卵行動は見られていない。

◇各繁殖実験地への魚の進入が少なかった。

→要因は複数考えられるが、周辺の灌漑、水の供給との関連があると思われた。

◇今年度は、例年よりも早いタイミングでアユモドキの動きが見られたものの、その後は非常に魚類全体の動きが低調であった。

【繁殖実験地内及び流入水路でのナマズ対策】

6/6から、繁殖実験地に流入する水路に網（使い捨て金網）、繁殖実験地内にはえ縄を設置し、7日から10日の間で、A2で3匹、A3で1匹、A6で3匹、合計7匹を捕獲した。